

(2) 調査結果

a. 昨年度（平成 26 年度）の授業内容について

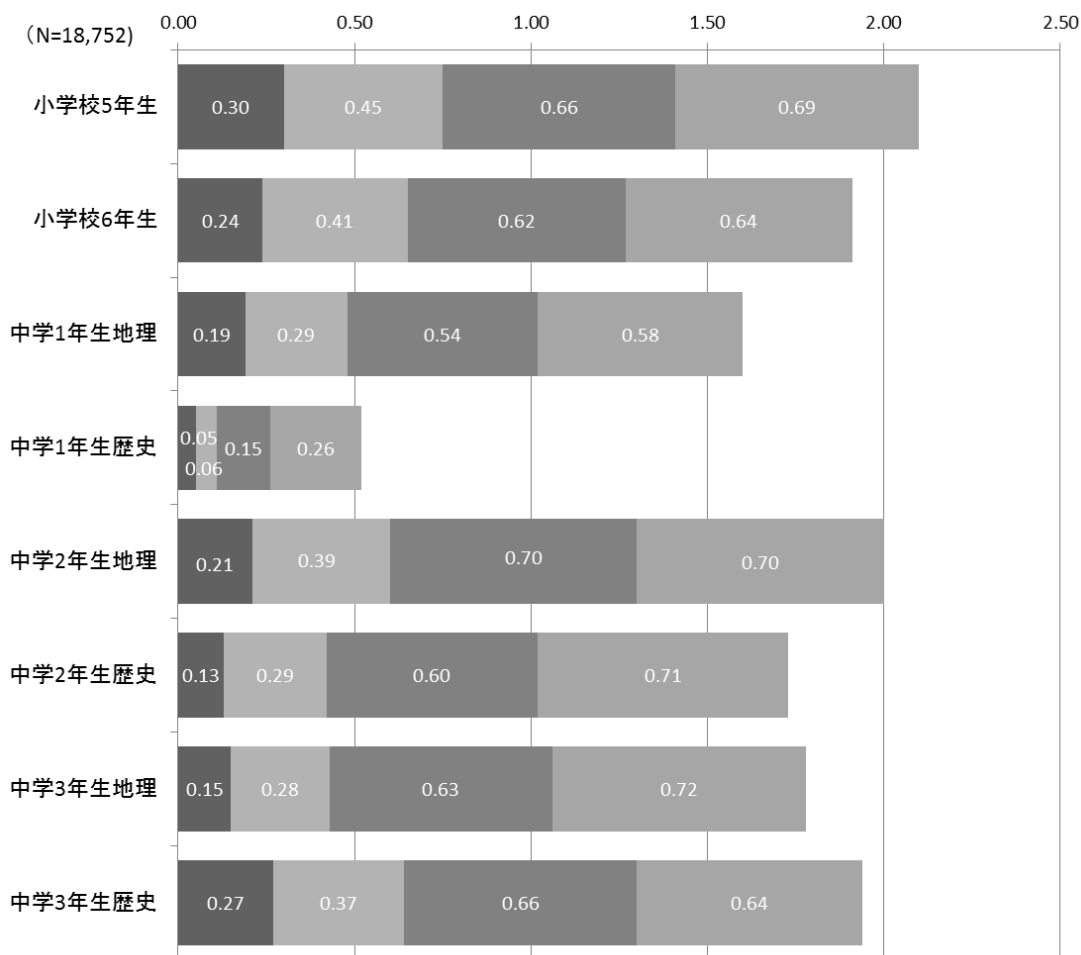
① 授業実施時間数（コマ数）

- ・平成 26 年度に実施された、「北方領土」に関する授業時間は、小学校、中学校ともに 1 時間のうちに割く時間が少ないほど、コマ数の平均は多い傾向。
- ・中学 1、2 年生では歴史よりも地理、3 年生では地理よりも歴史の実施時間が多い。

Q3. 昨年度（平成 26 年度）、あなたの学校では、「北方領土」に関する授業をどの程度、行いましたか？ 1 時間（1 単位時間）の中でどの程度の時間を割いた授業を何回位、行ったのか、お答え下さい。それぞれの授業数（コマ数）を空欄にご記入下さい。

※中学校で、社会科を担当されている方は、担当されている学年の 1 クラス平均でお答え下さい。

- 1 時間のうち、ほとんどの時間を割いた授業の数
- 1 時間のうち、半分以上の時間を割いた授業の数
- 1 時間のうち、4 分の 1 以上の時間を割いた授業の数
- 1 時間のうち、4 分の 1 未満の時間を割いた授業の数



(2) 調査結果

a. 昨年度(平成26年度)の授業内容について

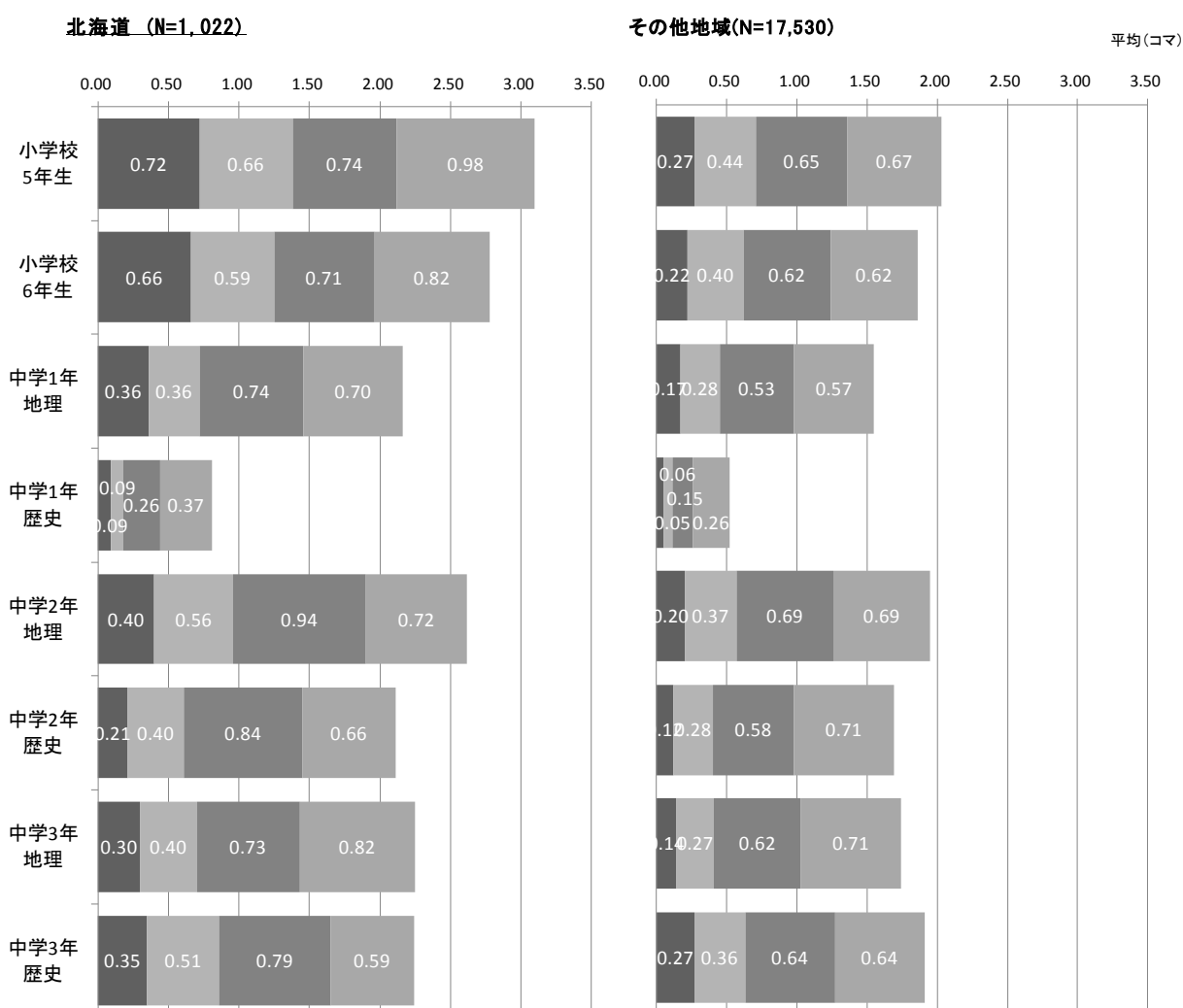
① 授業実施時間数(コマ数)

・北海道では授業実施時間数(コマ数)が、その他地域より多く、小学校5、6年生では、「1時間のうちほとんどの時間を割いた授業の数」は、その他地域の3倍程度になっている。

Q3. 昨年度(平成26年度)、あなたの学校では、「北方領土」に関する授業をどの程度、行いましたか? 1時間(1単位時間)の中でどの程度の時間を割いた授業を何回位、行ったのか、お答え下さい。それぞれの授業数(コマ数)を空欄にご記入下さい。

※中学校で、社会科を担当されている方は、担当されている学年の1クラス平均でお答え下さい。

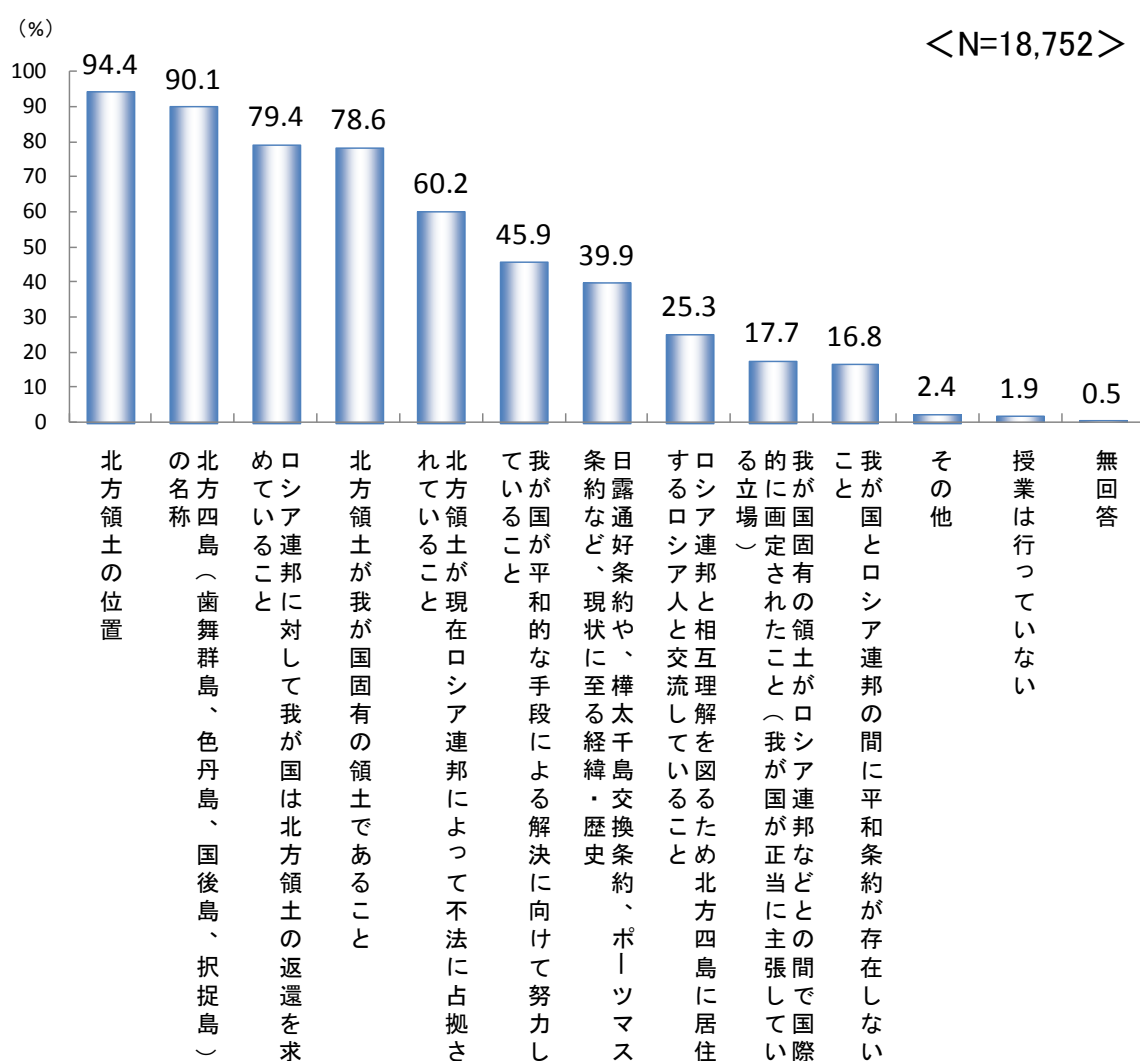
- 1時間のうち、ほとんどの時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、半分以上の時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、4分の1以上の時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、4分の1未満の時間を割いた授業の数



② 実施した授業内容

- ・平成26年度に実施した「北方領土」に関する授業内容では、「北方領土の位置」、「北方四島の名称」は9割以上、「北方領土が我が国固有の領土であること」、「ロシア連邦に対して我が国は北方領土の返還を求めていること」は8割弱となっている。
- ・「現状に至る経緯・歴史」、「我が国固有の領土がロシア連邦などとの間で国際的に画策されたこと」、「我が国とロシア連邦との間に平和条約が存在しないこと」などは、中学校を中心に上げられている。
- ・北海道では、「日露通好条約や樺太千島交換条約、ポーツマス条約など現状に至る経緯・歴史」や「ロシア連邦と相互理解を図るため北方四島に居住するロシア人と交流していること」を取り上げる割合が特に高い。

Q4. 昨年度(平成26年度)、あなたの学校では、「北方領土」に関するどのような内容の授業を行いましたか？(〇はいくつでも)



## Ⅱ. 調査活動

### 1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

< 詳細 >

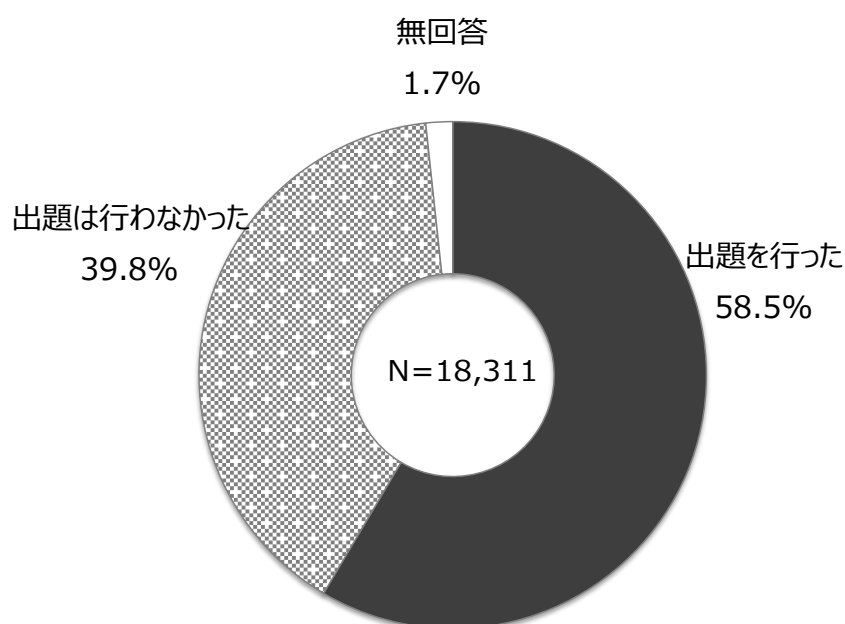
		(%)													
		N	北方領土の位置	北方領土が我が固有の領土であること	ロシア連邦に対して我が国は北方領土の返還を求めていること	北方領土が我が固有の領土であること	北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	我が国が平和的な手段による解決に向けて努力していること	日露通好条約や、樺太千島交換条約、ポーツマス条約など、現状に至る経緯・歴史	ロシア連邦と相互理解を図るため北方四島に居住するロシア人と交流していること	我が固有の領土がロシア連邦などとの間で国際的に画定されたこと（我が国が正当に主張している立場）	我が国とロシア連邦の間に平和条約が存在しないこと	その他	授業は行っていない	無回答
全体		18,752	94.4	90.1	79.4	78.6	60.2	45.9	39.9	25.3	17.7	16.8	2.4	1.9	0.5
学校区分	小学校	12,809	93.9	88.6	75.0	74.5	△ 50.6	43.6	▲ 24.1	△ 19.0	△ 8.5	▲ 5.6	1.7	1.8	0.5
	中学校	5,997	95.6	93.4	○ 88.9	○ 87.6	◎ 80.8	50.7	◎ 74.1	◎ 39.0	◎ 37.5	◎ 40.7	3.9	2.0	0.4
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	7,950	96.8	92.8	76.3	78.3	△ 54.7	43.4	▲ 16.4	△ 18.7	△ 7.8	▲ 4.2	1.8	1.5	0.2
	小学6年生	6,540	91.9	85.3	75.8	△ 71.9	▲ 48.2	46.6	36.2	20.5	△ 9.8	△ 7.8	1.6	2.0	0.4
	中学生1年生	3,383	96.3	94.1	○ 88.8	◎ 88.9	◎ 82.4	○ 51.6	◎ 71.4	◎ 42.5	◎ 38.0	◎ 40.5	3.7	2.2	0.2
	中学生2年生	3,637	97.1	○ 95.4	◎ 91.1	◎ 89.6	◎ 83.4	○ 53.1	◎ 83.1	◎ 41.2	◎ 41.2	◎ 44.0	3.9	1.3	0.1
	中学生3年生	3,834	96.6	94.5	◎ 91.7	◎ 89.7	◎ 83.0	○ 53.7	◎ 80.0	◎ 40.9	◎ 40.7	◎ 46.9	4.3	1.1	0.2
Q2.H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	地理	4,824	96.2	94.2	◎ 89.4	◎ 88.6	◎ 82.0	○ 51.6	◎ 74.9	◎ 41.0	◎ 38.0	◎ 40.7	3.8	2.1	0.2
	歴史	5,435	95.9	93.7	◎ 89.5	○ 88.3	◎ 82.0	○ 51.4	◎ 76.0	◎ 39.9	◎ 38.2	◎ 41.7	4.0	2.0	0.1
	公民	3,848	96.6	94.5	◎ 91.6	◎ 89.7	◎ 83.2	○ 53.9	◎ 80.0	◎ 40.8	◎ 41.0	◎ 47.1	4.3	1.1	0.2
地域	北海道	1,014	96.7	○ 96.0	○ 84.6	○ 85.0	64.7	50.1	◎ 51.6	◎ 46.7	○ 24.5	○ 22.8	3.7	0.7	0.7
	その他地域	17,485	94.4	89.8	79.2	78.5	60.2	45.8	39.4	24.1	17.4	16.5	2.3	1.9	0.5

※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

③ 出題の有無

- ・平成26年度では、58.5%の学校が北方領土に関する問題の出題をおこなっている。
- ・小学校では48.4%、中学校では80.0%が出題をしており、中学校を中心に出题がなされている。
- ・北海道では、小中学校の73.0%が出題している。

Q5. 昨年度(平成26年度)、あなたの担当されていた学年またはクラスでは、学校内での試験において、「北方領土」に関する出題を行いましたか？(○は一つだけ)



<詳細>

		N	出題を行った (%)	出題は行わなかった (%)	無回答 (%)
全体		18,311	58.5	39.8	1.7
学校区分	小学校	12,509	▲ 48.4	◎ 49.9	1.6
	中学校	5,856	◎ 80.0	▲ 18.2	1.9
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	7,815	57.5	40.8	1.7
	小学6年生	6,384	▲ 39.1	◎ 59.2	1.6
	中学生1年生	3,300	◎ 82.1	▲ 16.0	1.9
	中学生2年生	3,583	◎ 84.5	▲ 13.7	1.8
Q2.H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	中学生3年生	3,786	◎ 80.7	▲ 17.3	2.0
	地理	4,713	◎ 82.4	▲ 15.8	1.8
	歴史	5,319	◎ 81.0	▲ 17.2	1.8
地域	公民	3,801	◎ 80.5	▲ 17.5	2.0
	北海道	1,000	◎ 73.0	▲ 25.3	1.7
その他地域		17,068	57.7	40.6	1.7

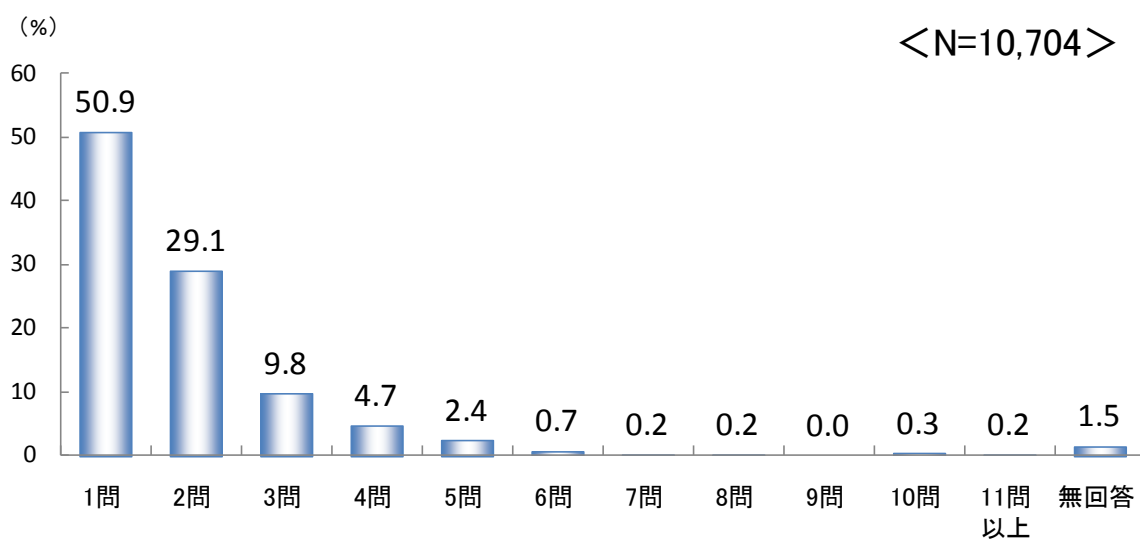
※◎: 全体より10ポイント以上高い、○: 全体より5ポイント以上高い、▲: 全体より10ポイント以上低い、△: 全体より5ポイント以上低い

1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

④ 学内試験における「北方領土」に関する出題数（出題した学校ベース）

- ・平成26年度に実施された北方領土に関する問題の出題数は、「1問」が50.9%、「2問」が29.1%となっている。
- ・北海道では、2問～3問の複数出題の割合が高く、「1問」は23.2%。

Q6. 出題数を以下の空欄にお答え下さい。



<詳細>

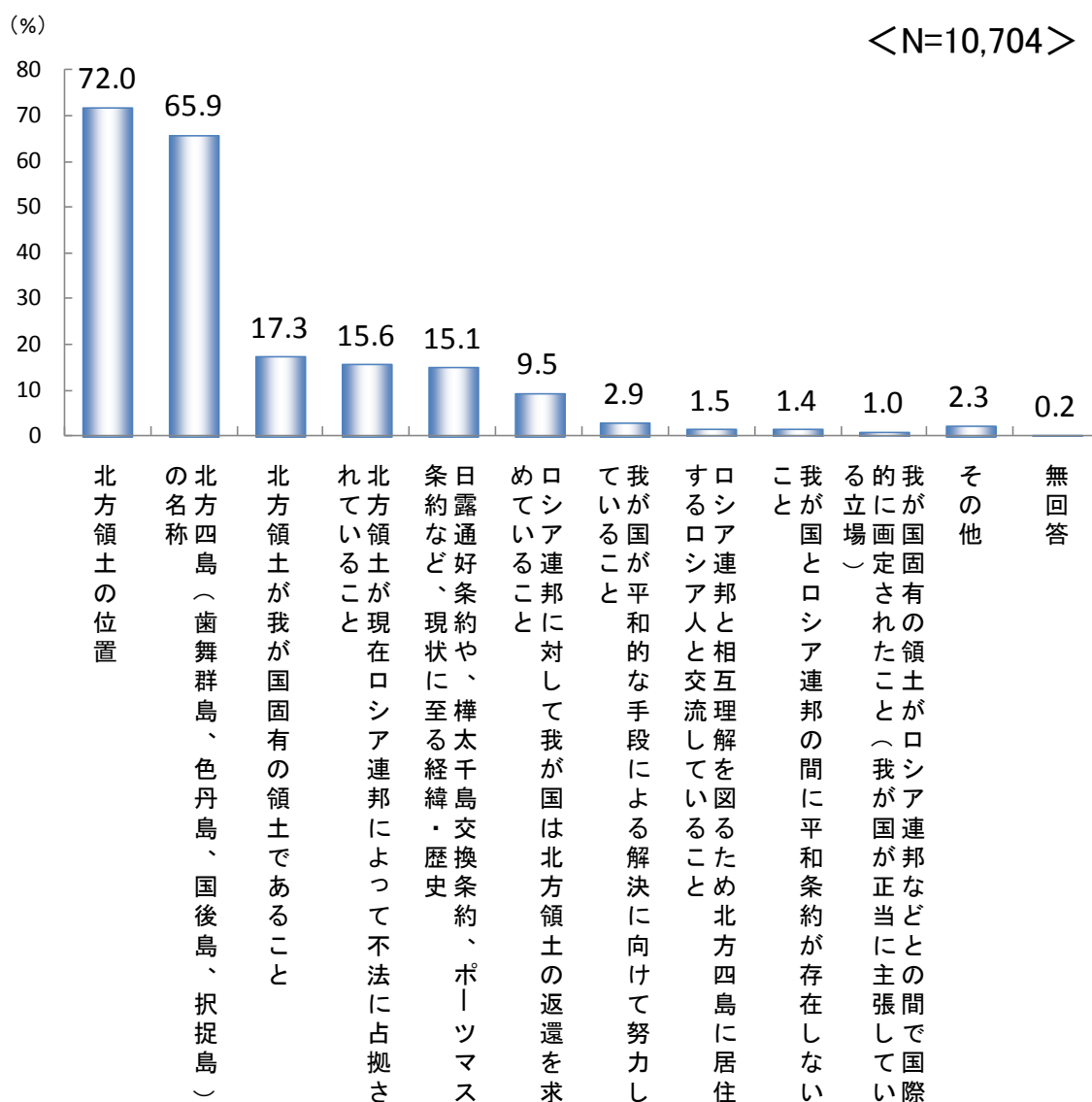
		N	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問以上	無回答	平均(問)
全体		10,704	50.9	29.1	9.8	4.7	2.4	0.7	0.2	0.2	0.0	0.3	0.2	1.5	1.9
学校区分	小学校	6,060	○ 58.2	26.9	6.5	3.6	1.7	0.4	0.0	0.2	0.0	0.2	0.1	2.1	1.7
	中学校	4,682	△ 41.2	32.1	14.1	6.1	3.4	1.1	0.3	0.3	0.0	0.4	0.3	0.7	2.1
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	4,492	○ 57.8	27.6	6.6	3.5	1.6	0.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.1	1.9	1.7
	小学6年生	2,499	○ 58.3	25.5	6.9	4.0	1.7	0.5	0.1	0.2	0.1	0.4	0.3	2.1	1.7
	中学生1年生	2,710	▲ 39.5	31.3	○ 15.3	6.3	3.8	1.3	0.4	0.5	0.1	0.5	0.4	0.6	2.2
	中学生2年生	3,029	▲ 38.4	31.5	○ 15.5	7.3	3.7	1.2	0.3	0.4	0.1	0.6	0.3	0.7	2.2
	中学生3年生	3,056	△ 41.2	30.8	14.7	6.3	3.6	1.3	0.4	0.4	0.1	0.6	0.4	0.4	2.2
Q2.H26年度担当教科(MA)(中学教諭ベース)	地理	3,884	▲ 39.8	31.8	○ 14.9	6.6	3.6	1.1	0.3	0.4	0.1	0.4	0.3	0.7	2.2
	歴史	4,310	△ 41.1	32.0	14.3	6.2	3.4	1.1	0.3	0.3	0.0	0.4	0.3	0.6	2.1
	公民	3,058	△ 41.3	30.8	14.6	6.1	3.6	1.3	0.4	0.4	0.1	0.6	0.4	0.5	2.2
地域	北海道	730	▲ 23.2	32.1	○ 18.2	○ 12.6	6.2	2.5	0.5	1.1	0.4	1.2	0.8	1.2	2.8
	その他地域	9,852	52.8	29.0	9.2	4.1	2.1	0.6	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	1.4	1.8

※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

⑤ 出題内容（出題した学校ベース）

- ・平成26年度に実施された北方領土に関する問題の出題内容としては、小学校・中学校ともに「北方領土の位置」、「北方四島の名称」が中心となっている。
- ・「現状に至る経緯・歴史」は、中学校を中心に出题されている。

Q7. 出題内容をお答え下さい。(〇はいくつでも)



## Ⅱ. 調査活動

### 1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

< 詳細 >

		N	北方領土の位置	北方四島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)の名称	北方領土が我が国固有の領土であること	北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	日露通好条約や、樺太千島交換条約、ポーツマス条約など、現状に至る経緯・歴史	ロシア連邦に対して我が国は北方領土の返還を求めていること	我が国が平和的な手段による解決に向けて努力していること	ロシア連邦と相互理解を図るため北方四島に居住するロシア人と交流していること	我が国とロシア連邦の間に平和条約が存在しないこと	我が国固有の領土がロシア連邦などとの間で国際的に画定されたこと(我が国が正当に主張している立場)	その他	無回答
全体		10704	72.0	65.9	17.3	15.6	15.1	9.5	2.9	1.5	1.4	1.0	2.3	0.2
学校区分	小学校	6060	72.9	△ 59.0	19.3	△ 9.2	▲ 4.2	9.6	4.2	1.9	0.2	0.3	2.7	0.3
	中学校	4682	71.0	○ 75.1	14.6	○ 24.0	◎ 29.3	9.3	1.2	1.0	3.0	1.9	1.8	0.0
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	4492	76.2	61.3	18.7	△ 8.9	▲ 2.0	7.9	3.0	1.6	0.2	0.3	2.8	0.2
	小学6年生	2499	67.6	△ 57.3	21.2	△ 10.0	△ 8.4	13.5	6.3	2.3	0.3	0.5	2.5	0.3
	中学生1年生	2710	75.0	◎ 76.8	15.0	◎ 26.3	◎ 27.5	10.0	1.4	1.1	3.3	1.9	1.7	0.0
	中学生2年生	3029	72.7	◎ 76.5	14.9	○ 24.3	◎ 35.0	9.6	1.5	1.0	3.2	2.3	1.7	0.0
Q2.H26年度担当教科(MA)(中学教諭ベース)	中学生3年生	3056	71.9	○ 74.2	15.6	◎ 25.9	◎ 31.0	10.3	1.6	1.2	3.9	2.0	1.8	0.0
	地理	3884	72.8	◎ 76.6	14.5	○ 24.3	◎ 30.0	9.3	1.2	1.0	3.0	2.0	1.8	0.0
	歴史	4310	71.3	○ 75.0	14.5	○ 24.0	◎ 30.2	9.3	1.3	1.0	3.1	2.0	1.9	0.0
地域	公民	3058	71.7	○ 74.3	15.6	◎ 25.8	◎ 30.6	10.3	1.6	1.2	3.9	2.0	1.9	0.0
	北海道	730	○ 81.9	◎ 92.7	16.3	17.4	○ 20.3	10.3	3.7	4.2	2.2	1.8	0.5	0.1
	その他地域	9852	71.4	64.0	17.4	15.5	14.7	9.4	2.9	1.3	1.4	0.9	2.4	0.2

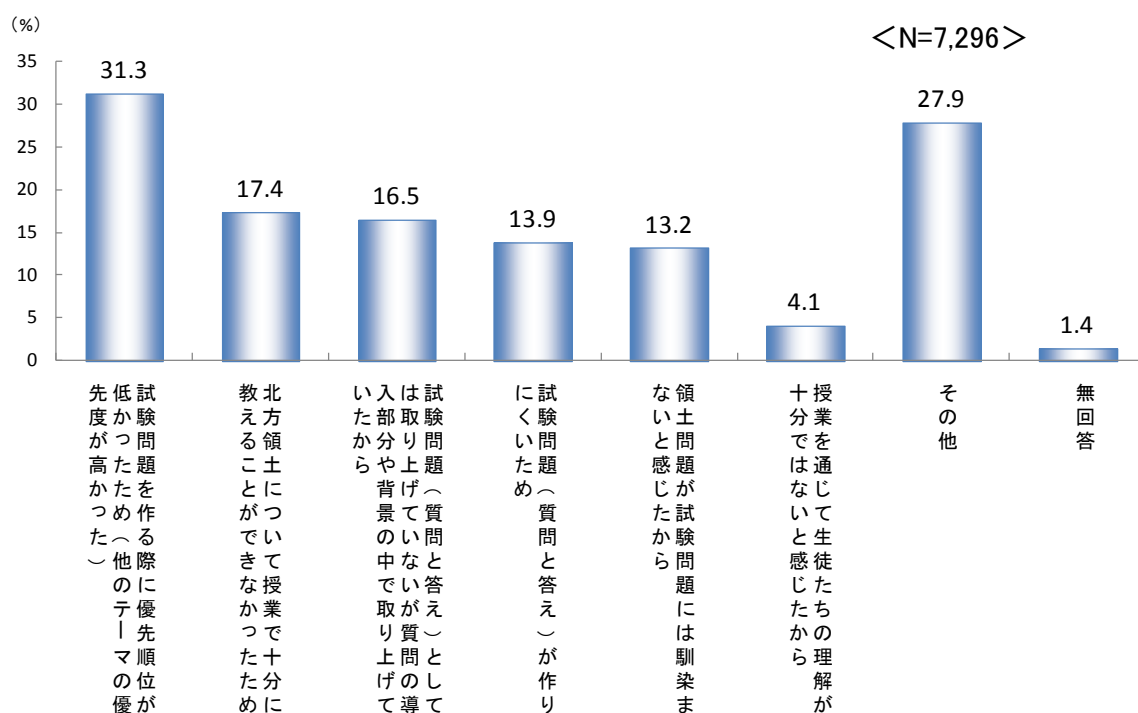
※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い



⑥ 出題しなかった理由（出題しなかった学校ベース）

- ・ 出題しなかった理由としては、「試験問題を作る際に優先順位が低かったため（他のテーマの優先度が高かった）」との回答が最も多く 31.3%。
- ・ 中学校では「試験問題を作る際に優先順位が低かったため（他のテーマの優先度が高かった）」は 5 割以上となっている。
- ・ 「北方領土について授業で十分に教えられなかったため」、「試験問題（質問と答え）が作りにくい」、「領土問題が試験問題に馴染まないと感じたから」といった意見も 1 割を超える。

Q8. 出題されなかった理由をお答えください。（○はいくつでも）



【その他回答】

その他の回答では、「市販のテストを利用しており、その中に北方領土に関する問題がなかった」との意見が多かった。

## Ⅱ. 調査活動

### 1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

< 詳細 >

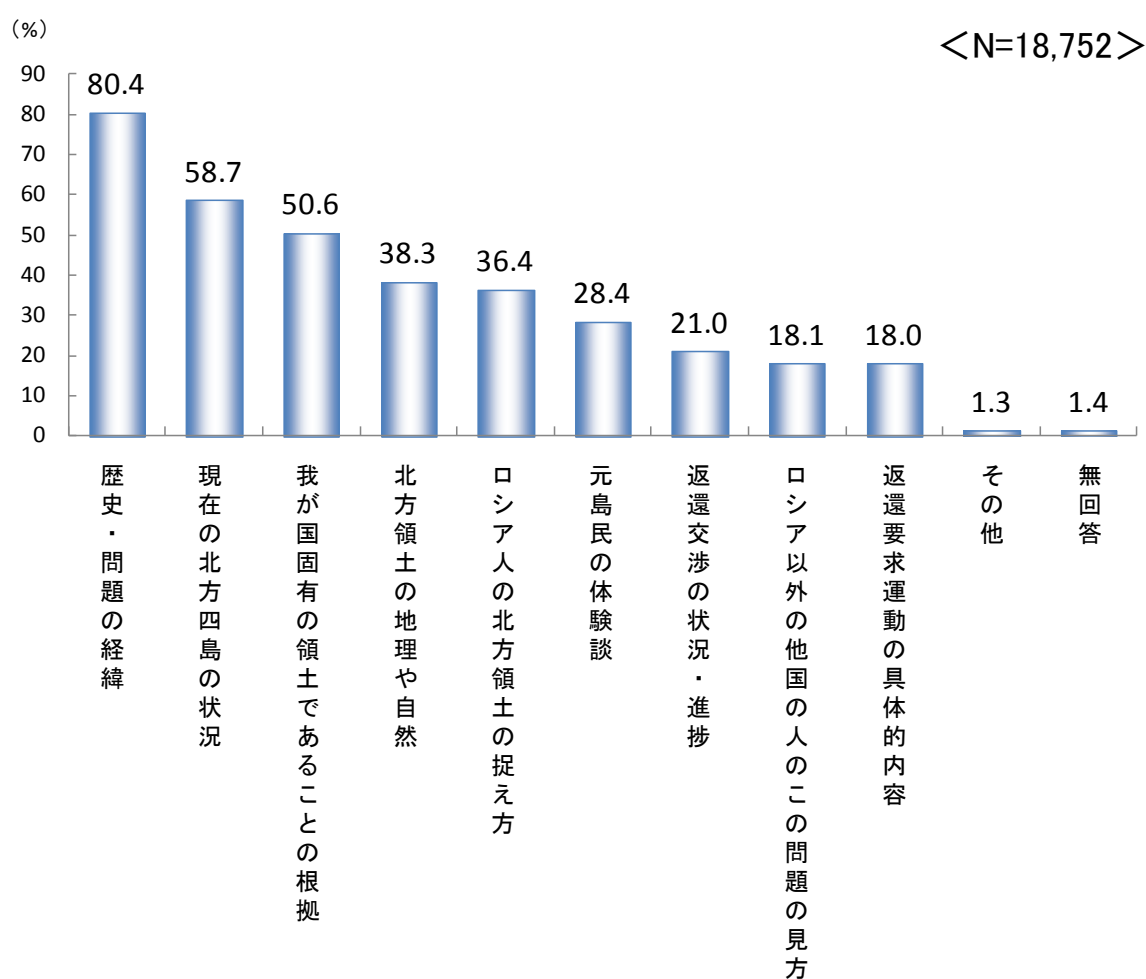
		N	試験問題の優先度が高かった(他のテーマよりも優先順位が低かったため)	北方領土について授業で十分に教えることができなかった	試験問題(質問と答え)として取り上げられていたから背景の中で質問の導入口や背景の不明な点を取り除いてから	試験問題(質問と答え)が作りにくい	領土問題が試験問題には馴染まないと感じたから	授業を通じて生徒たちの理解が十分ではないと感じたから	その他	無回答
全体		7,296	31.3	17.4	16.5	13.9	13.2	4.1	27.9	1.4
学校区分	小学校	6,244	27.3	17.9	16.2	13.2	13.1	4.3	30.8	1.4
	中学校	1,065	◎ 54.7	14.4	18.3	18.2	14.1	2.9	▲ 10.8	1.5
Q1 H26年度担当学年(MA)	小学5年生	3,192	26.9	17.7	14.9	13.6	13.7	4.1	31.6	1.7
	小学6年生	3,782	27.8	18.6	17.6	13.4	12.9	4.4	30.4	1.0
	中学生1年生	528	◎ 52.1	16.7	18.2	17.4	12.9	2.7	▲ 11.7	2.5
	中学生2年生	490	◎ 58.2	14.3	20.8	○ 20.0	15.7	2.9	▲ 8.4	1.4
中学生3年生	654	◎ 56.3	△ 12.2	18.3		18.5	14.2	2.9	▲ 10.1	1.7
Q2 H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	地理	745	◎ 53.4	15.8	19.1	18.5	14.0	2.8	▲ 10.7	1.9
	歴史	914	◎ 56.0	14.2	18.6	18.5	14.0	2.6	▲ 10.4	1.4
	公民	667	◎ 56.7	12.7	18.0	18.1	13.8	2.8	▲ 10.0	1.6

※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

⑦ 「北方領土」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な授業内容

- ・児童・生徒が「北方領土」について理解を深めるうえで、「歴史・問題の経緯」(80.4%)が最も効果的な授業内容と考えられている。次いで、「現在の北方四島の状況」(58.7%)、「我が国固有の領土であることの根拠」(50.6%)となっている。
- ・「ロシア人の北方領土の捉え方」は、小学校に比べ中学校で効果的だと考えられている。

Q9. あなたが担当する児童・生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうために、どのようなテーマ・内容について、授業を行うとより効果的だと考えますか？(〇はいくつでも)



1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

< 詳細 >

		(%)											
N		歴史・問題の経緯	現在の北方四島の状況	我が国固有の領土であることの根拠	北方領土の地理や自然	ロシア人の北方領土の捉え方	元島民の体験談	返還交渉の状況・進捗	ロシア以外の他国の人のこの問題の見方	返還要求運動の具体的内容	その他	無回答	
全体		18,752	80.4	58.7	50.6	38.3	36.4	28.4	21.0	18.1	18.0	1.3	1.4
学校区分	小学校	12,809	79.5	58.8	46.9	42.4	△ 31.2	27.0	17.8	14.6	17.4	1.1	1.2
	中学校	5,997	82.5	58.4	○ 58.6	△ 29.6	◎ 47.6	31.5	○ 27.8	○ 25.5	19.2	1.8	1.7
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	7,950	77.6	59.4	46.4	○ 45.0	△ 30.9	26.9	16.7	14.1	17.2	1.0	1.3
	小学6年生	6,540	82.9	59.5	49.1	40.9	32.4	28.1	20.1	16.2	18.9	1.2	0.9
	中学生1年生	3,383	83.1	58.2	○ 59.6	△ 30.9	◎ 46.6	32.7	○ 27.0	○ 26.1	19.0	1.8	1.5
	中学生2年生	3,637	82.4	58.6	○ 59.3	△ 30.8	◎ 48.3	33.2	○ 28.8	○ 26.2	20.0	1.6	1.6
	中学生3年生	3,834	82.3	58.8	○ 60.0	△ 29.2	◎ 48.8	31.7	○ 28.8	○ 26.1	19.5	1.7	1.9
Q2.H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	地理	4,824	82.5	58.5	○ 58.9	△ 31.1	◎ 47.5	32.4	○ 27.6	○ 25.6	19.4	1.8	1.6
	歴史	5,435	82.4	58.8	○ 59.1	△ 30.0	◎ 48.0	32.1	○ 28.2	○ 25.8	19.2	1.8	1.6
	公民	3,848	82.1	58.7	○ 60.1	△ 29.3	◎ 48.5	31.8	○ 28.7	○ 26.0	19.4	1.7	1.9

※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

⑧ 「北方領土」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な情報

・理解を深めてもらう上で、効果的な情報として、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(歴史的経緯/問題の経緯)を挙げている人が多くなっている。その他では、「現在の北方領土(北方四島)の状況・様子」「北方四島に居住する人々の様子」など。

Q10. 北方領土に関するどのような情報が活用できれば、あなたが担当する生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうことができると考えますか?以下の空欄にご記入下さい。

【効果的な情報】

	小中学校
北方領土問題の歴史・問題の経緯(歴史的経緯/問題の経緯)	4,092 (件)
歴史的な背景	684
北方領土(北方四島)の自然、地理	904
北方領土の産業、文化	289
元島民の体験談	1,208
北方四島に居住するロシア人の話	195
北方四島に居住する人々の様子、話	1,730
現在の北方領土(北方四島)の状況・様子	2,018
戦前の北方領土(北方四島)の様子	151
北方領土が日本固有の領土であることの根拠	963
北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	679
我が国が北方領土の返還を求めていること	711
返還要求運動の具体的内容	107
現在の日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	489
これまでの日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	108
北方領土返還のメリット(不法占拠されていることのデメリット)	85
ロシア人の北方領土問題の捉え方・考え方(日露の考え方の違い)	581
日本人の北方領土問題の捉え方・考え方	203
双方の北方領土問題の捉え方・考え方	221
他国の人(日本・ロシア以外)の北方領土問題の捉え方・考え方	188
北方領土問題を分かりやすく解説したもの	1,048
教材としての情報	2,494
その他	3,198

【具体的な意見】

- 客観的な歴史的経緯 ロシア側の立場を和訳したもの 日本側の立場。
- 元島民の体験談は生徒に身近な問題としてとらえさせることができる。
- 日本・ロシア両国の北方領土に対するアプローチ(発見から現在に至るまで両国の関わり方) 北方領土の存在によって確保される資源。
- 小学生にも理解できるようなやさしい解説。
- かつて日本人の町があったことを示す、資料・写真等、昔の映像があればさらによい。

⑨ 「北方領土」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な教材

- ・ 教材についてもその情報内容については、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(歴史的経緯/問題の経緯)を挙げている人が多くなっている。メディア・ツールの形態としては、DVDなどの「映像・動画」が効果的と考えられている。回答のなかで出てきたメディア・ツールの形態は地図や写真、年表など多岐に渡っているが、「教材全般」との回答も目立っている。
- ・ 具体的な意見では元島民の話(声)、近隣国の考え方、北方領土に残っている日本のもの(建物、看板)などが挙げられた。

Q11. 北方領土に関するどのような教材が活用できれば、あなたが担当する生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうことができると考えますか?以下の空欄にご記入下さい。

	小中学校 (件)
<b>【情報内容】</b>	
北方領土問題の歴史・問題の経緯(歴史的経緯/問題の経緯)	2,362
歴史的な背景	268
北方領土(北方四島)の自然、地理	856
北方領土の産業、文化	182
元島民の体験談	834
北方四島に居住するロシア人の話	100
北方四島に居住する人々の様子、話	1,048
現在の北方領土(北方四島)の状況・様子	410
戦前の北方領土(北方四島)の様子	122
北方領土が日本固有の領土であることの根拠	329
北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	276
我が国が北方領土の返還を求めていること	248
返還要求運動の具体的内容	42
現在の日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	177
これまでの日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	22
北方領土返還のメリット(不法占拠されていることのデメリット)	20
ロシア人の北方領土問題の捉え方・考え方(日露の考え方の違い)	124
日本人の北方領土問題の捉え方・考え方	124
双方の北方領土問題の捉え方・考え方	132
他国の(日本・ロシア以外)の北方領土問題の捉え方・考え方	67
北方領土問題を分かりやすく解説したもの	2,714
<b>【メディア・ツール】</b>	
教材全般	3,128
視聴覚・視覚	1,210
映像・動画	6,156
写真・画像	1,852
年表	608
地図	911
WEB	344
パソコン・デジタル	360
プレゼンテーション	178
図表・統計データ	222
パンフレット・冊子	706
絵・イラスト	250
アニメ	305
教科書	656
マンガ	240
副教材・資料集	311
時間	324
ニュース・新聞	113
その他	3,692

#### 【具体的な意見】

- 地図・年表・住民の声・ロシア人の声などが入ったビデオ教材。
- わかりやすい歴史的教材ビデオ（短い時間のもの）。
- 教科書に、もう少し大きくとりあげる。パンフレットの配布。
- 経緯がわかるような内容動画。
- 日本が北方領について、どのように考え、どうしようとしているのかがわかるDVDがあるといいと考えます（小学性にも理解できるような内容）。
- 歴史問題の経緯に関するDVDなどがあるとよい。
- 歴史がわかるもの。
- 北方領土について、詳しく解説した映像資料（小学生向き）。
- 歴史がわかる年表や写真（過去と現在）。
- 小学生にも理解しやすい資料（マンガ等）。
- 島民の声、近隣国のこの問題への考えがわかるもの、教科書、資料集にのっていると見やすいです。
- 北方領土不法占拠に至る歴史、教科書でもきちんと扱うべきだと思います。
- 北方領土に残っている、日本のもの（建物、看板など）。

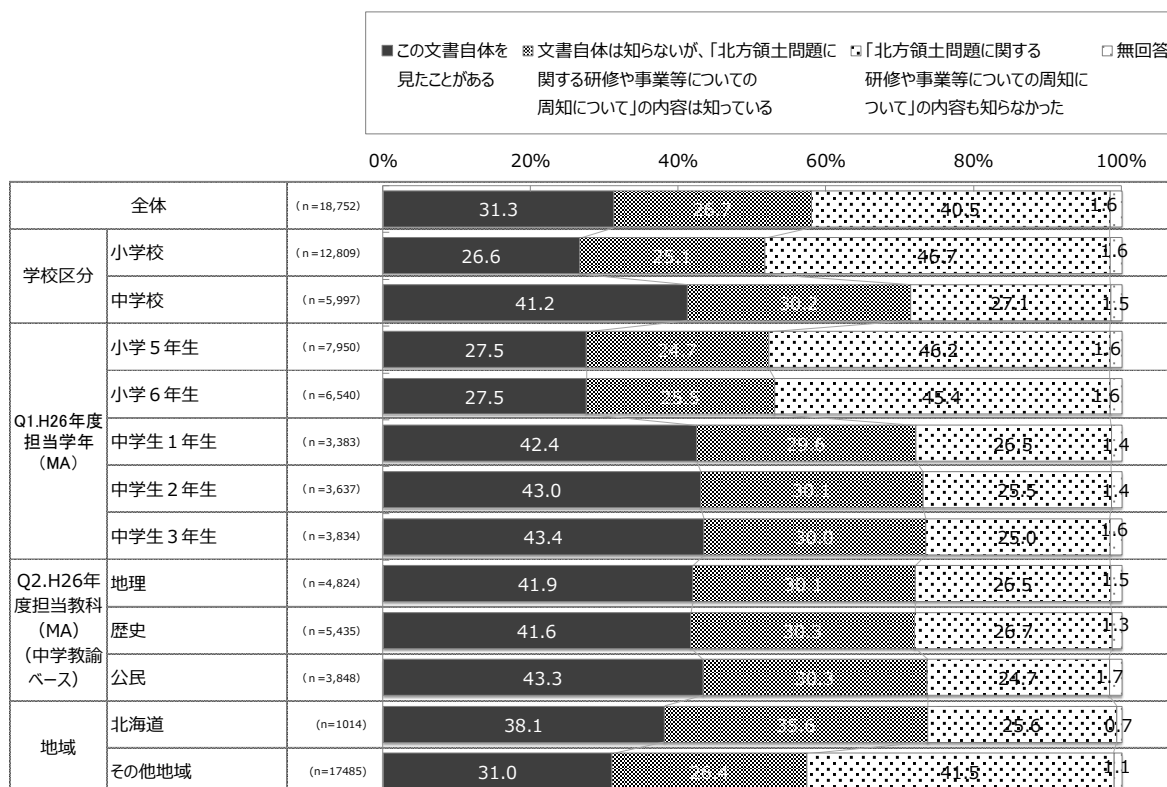
b. 「北方領土問題に関する研修や事業等についての周知について」の認知等

① 文書の認知

- ・「北方領土問題に関する研修や事業等についての周知について」の文書を「見たことがある」という回答は31.3%、「文書自体は知らないが、内容は知っている」という回答は26.7%となっている。
- ・北海道では、「見たことがある」が38.1%、「内容は知っている」は25.6%。「内容も知らなかった」との回答は25.6%で、その他地域の41.5%を大きく下回る。

Q12. 別紙は、文部科学省が各都道府県教育委員会等に発出した文書「北方領土問題に関する研修や事業等についての周知について」を抜粋したものです。あなたはこの文書をご存知でしたか？

(○は一つだけ)



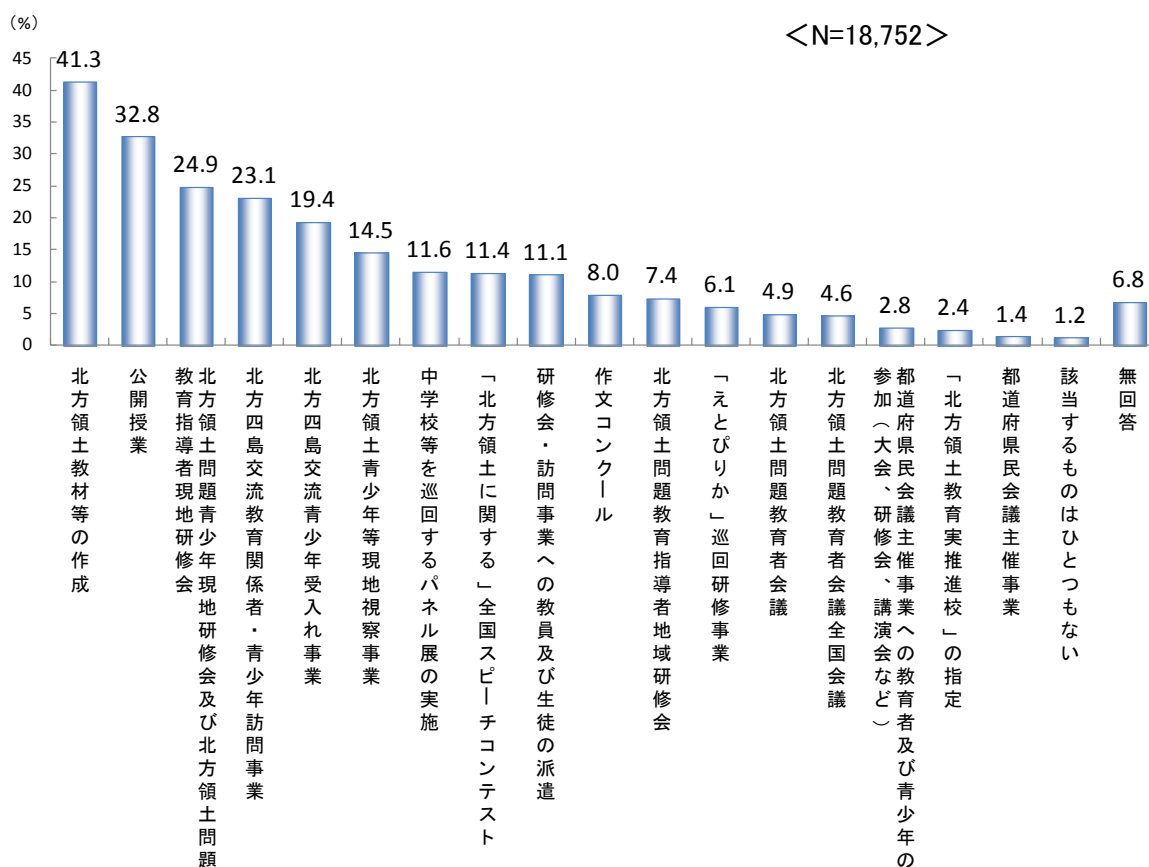


1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

② 提示した北方領土問題に関する事業への関心

- ・「北対協等主催の教員及び生徒等を対象とする北方領土問題に関する事業」のうち、「北方領土教材集の作成」への関心が最も高く、41.3%。次いで「公開授業」(32.8%)、「北方領土問題青少年現地研修会及び北方領土問題教育指導者現地研修会」(24.9%)、「北方四島交流教育関係者・青少年法訪問事業」(23.1%)となっている。
- ・小学校、中学校で特に大きな差はみられない。

Q13. 別紙の「北対協等主催の教員及び生徒等を対象とする北方領土問題に関する事業」の中で、あなたが関心を持ったものは何ですか？(〇はいくつでも)



## II. 調査活動

### 1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

< 詳細 >

		N	北方領土教材等の作成	公開授業	北方領土問題青少年現地研修者及び北方領土問題教育指導者現地研修会	北方四島交流教育関係者・青少年訪問事業	北方四島交流青少年受入れ事業	北方領土青少年等現地視察事業	中学校等を巡回するパネル展の実施	「北方領土に関する」全国スピーチコンテスト	研修会・訪問事業への教員及び生徒の派遣	作文コンクール
全体		18,752	41.3	32.8	24.9	23.1	19.4	14.5	11.6	11.4	11.1	8.0
学校区分	小学校	12,809	41.6	35.0	22.5	20.9	18.5	13.3	8.9	11.4	9.4	7.9
	中学校	5,997	40.5	28.1	30.2	27.9	21.3	17.1	17.5	11.5	14.7	8.3
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	7,950	41.7	35.3	22.1	21.0	18.7	13.3	9.0	11.7	9.2	7.9
	小学6年生	6,540	42.1	34.9	23.4	21.7	18.7	13.7	9.3	11.4	9.8	7.7
	中学生1年生	3,383	40.6	27.1	31.6	28.6	22.1	17.4	18.1	11.5	14.8	8.2
	中学生2年生	3,637	40.6	28.0	31.6	29.0	22.3	16.4	17.1	11.7	15.0	8.4
Q2.H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	中学生3年生	3,834	40.5	27.0	30.7	28.5	21.2	17.8	17.6	12.2	14.4	8.4
	地理	4,824	40.6	27.9	31.1	28.8	22.0	17.0	17.5	11.3	14.8	8.4
	歴史	5,435	40.6	28.3	31.0	28.3	21.4	17.4	17.6	11.4	14.7	8.2
	公民	3,848	40.6	27.2	30.5	28.4	21.1	17.8	17.7	12.1	14.5	8.4

		N	北方領土問題教育指導者地域研修会	「えとぴりか」巡回研修事業	北方領土問題教育者会議	北方領土問題教育者会議全国会議	北海道府県民会議主催事業への参加(大会、研修会、講演会など)	都道府県民会議主催事業への参加(大会、研修会、講演会など)	指定「北方領土教育実推進校」の指定	都道府県民会議主催事業	該当するものはひとつもない	無回答
全体		18,752	7.4	6.1	4.9	4.6	2.8	2.4	1.4	1.2	6.8	
学校区分	小学校	12,809	7.0	6.2	4.6	4.3	2.6	2.4	1.1	1.1	7.0	
	中学校	5,997	8.3	6.1	5.3	5.2	3.5	2.2	2.0	1.3	6.5	
Q1.H26年度担当学年(MA)	小学5年生	7,950	6.8	6.2	4.3	3.9	2.5	2.4	1.1	1.2	7.0	
	小学6年生	6,540	7.1	6.3	5.2	4.7	2.8	2.7	1.2	1.1	6.6	
	中学生1年生	3,383	8.8	6.1	5.0	5.3	3.5	2.3	2.0	1.2	6.3	
	中学生2年生	3,637	8.6	6.2	5.7	5.3	3.9	2.4	2.3	1.2	6.2	
Q2.H26年度担当教科(MA) (中学教諭ベース)	中学生3年生	3,834	8.9	6.2	5.3	5.6	3.7	2.2	2.1	1.4	6.6	
	地理	4,824	8.5	6.2	5.2	5.1	3.6	2.3	2.1	1.1	6.2	
	歴史	5,435	8.3	6.2	5.3	5.2	3.5	2.3	2.1	1.2	6.1	
	公民	3,848	8.9	6.2	5.4	5.7	3.6	2.2	2.2	1.4	6.7	

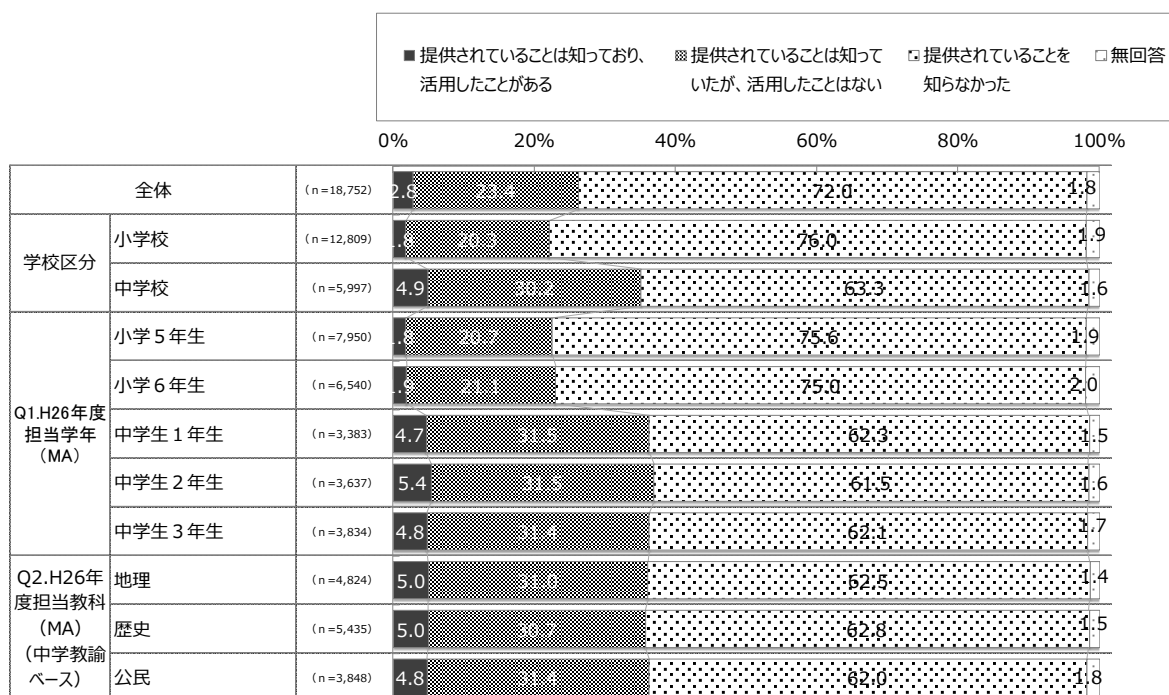
※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

1. 北方領土教育の実態調査(小中学校アンケート調査)

③ 北方領土学習教材集の認知・活用状況

- ・北方領土学習教材集について「提供されていることは知っており、活用したことがある」との回答は2.8%、「提供されていることは知っていたが、活用したことはない」との回答は23.4%。
- ・小学校よりも、中学校での活用度がやや高い。

Q14. 独立行政法人 北方領土問題対策協会（北対協）が、北方領土学習教材集を WEB (<http://www.hoppou.go.jp/kyozai/>) にて提供していることをご存じでしたか？ また、活用したことはありますか？（○はひとつだけ）＜詳細＞



## c. ヒアリング調査結果

ヒアリング対象：23校（北海道内の学校：11、その他地域の学校：12校）

## ■北方領土の授業数が多かった学校

特に多いという認識を持っていない学校が多く、北海道の小・中学校としては、当然のこととして、取り組んでいる。

また、関係機関（北方領土問題対策協会、教育委員会）から北方領土に関する資料が送られてくるので、北方領土に触れているという回答も聞かれた。校区に元島民の方が在住しているので、教育人材として生徒に話を聞かせる場を設けたり、授業でも身近な問題であることを強調して教えているという例もあった。

総合学習のテーマとして、総合学習の中で3つの柱、北方領土、アイヌ民族、観光について指導するように通達があり、それを3年サイクルで実施している」ということで、必然的にも扱う時間が多くなる、という例もあった。

北海道以外の地域で、授業の多かった学校では、日本の大切な問題として先生自身が率先して取り組んでいるという声や200海里問題と絡めて北方漁場のこととして、考えさせている例もある。

## ■試験の問題数の多かった学校

北海道の学校では、根室市や周辺地域の学校が多い。地元ということで関心も高く、力を入れているというケースが多かった。

ほぼどの学校もそんなに多いという意識はないようで、ごく一般的ではないかというのが学校側の見方であった。

北海道内の学校では「ふるさと学習」の指定校となっていたので、総合的な授業の中で取り上げたとの回答も聞かれた。

北海道以外の地域の中学校では、領土問題、竹島尖閣をあわせた地理の学習にあわせて、テストに出題している学校もある。学習上大切なことなので、漠然とした知識のままで終わらないようにしっかり教えているとの声も。

中学校では、北方領土に特化した形で、出題している訳ではなく、地理、歴史、公民の各分野のなかで出題するため、結果とした出題が多くなっているというケースも見られた。

「近年、マスコミのニュースなどで北方領土を含む領土問題が取り上げられているので、子供たちもニュースを見て関心を持っているだろうから、きちんと正確な知識を与えた方がよいと考えて、テストを作成した」との意見も聞かれた。